

社会福祉法人グランはりま

特別養護老人ホームグランはりま / 兵庫県加古川市

社会福祉法人グランはりまは、加古川市で特別養護老人ホーム・グループホーム・保育園を運営されている法人です。平成16年、国道2号線に面した活気のある地域に開設されており、「その人なりの理想の実現」「わが家と同じように」を目指し、全館を個室としたきめ細かなケアサービスと、地域交流スペースを設け世代を超えたふれあいを創出する地域への貢献を目指した新しいカタチの特別養護老人ホームとなっております。

昨年補助金を活用し、従来の設備を災害時にも強靱性の高い都市ガス停電対応型の設備に更新することで、更なる地域貢献の実現が可能となりました。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS35kW×1台、標準型GHP969.5kW(計16台)
- 補助金額：27,992千円(補助率1/3)
- 災害時の設備用途：[給電] GHPへの給電
[空調] 1・2・3Fの共用部・個室・事務所等

対象施設	避難所面積	供給方式
福祉避難所	3,879㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

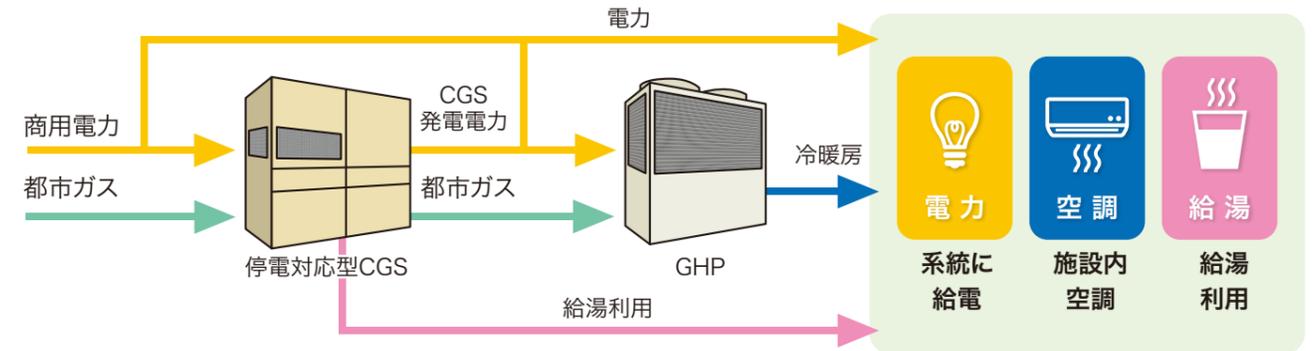
社会福祉法人グランはりま 事務長 佐伯 英治 様

開設から18年を迎え、既存設備(BOS機能無し)のガスコージェネレーションCGS・ガス空調GHP)の更新を検討していくなかで、近年の自然災害の状況等を鑑み、当施設をご利用いただく皆様にとって、安全・安心な施設となるような設備への更新が不可欠であると考えておりました。また、社会福祉法人といたしましても、加古川市及び播磨町地区の皆様に対して、福祉避難所として従来設備より強靱化を図ることで、より自然災害時に貢献できる施設にしたいという視点で検討をいたしました。

そのような考えから、2020年度に、補助金を活用してコスト削減と施設の災害対応強化を図ることができないかをガス会社に相談いたしました。その結果、本補助金を紹介していただき、本補助金を活用した設備改修で法人内の決裁に至りました。補助金を活用するにあたり、更新時期や工事スケジュール等の調整が必要でありましたので、早々に法人内で申請に向けた協議を開始し、約1年の準備期間を経て本補助事業の実施となりました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

平時 CGSで作られた電力は系統と連携し、ピーク時のデマンドを抑制
排熱は給湯負荷が大きな福祉施設で効率的に利用



停電時 停電時も稼働が可能なCGSでGHPに電力を供給



協定概要

加古川市とは「福祉避難所の指定に関する協定書」を締結(平成25年2月)、播磨町とは「災害時に福祉避難所として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書」を締結(平成25年6月)し、地震、風水害、その他の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、施設等を利用することについて定めております。